

SSI対策アセスメント&チェックリスト

APSIC ガイドライン参考

	APSIC ガイドライン勧告項目 () は勧告カテゴリー	対象 ✓	実施 ✓	備考
術前	術前入浴：石鹸（抗菌または非抗菌）を用いた術前入浴を1回以上行う必要がある (I B)			
	成人を対象とした待機的結腸直腸手術では、機械的腸管前処置と経口抗菌薬の併用が推奨される (I A)			
	除毛：除毛が必要な場合、剃毛は避け、電気クリッパーを使用すべきである (I A)			
	スクリーニング：心臓胸部手術および整形外科手術において、MRSA 鼻腔保菌者には、CHG ボディソープ併用の有無に関わらず、術前にムピロシン2%軟膏の鼻腔内塗布を行う必要がある (I A)			
	その他（追加）：			
	APSIC ガイドライン勧告項目 () は勧告カテゴリー	対象 ✓	実施 ✓	備考
術中	手術時手洗い：滅菌ガウンおよび手袋を着用する前に、適切な消毒石鹸および水を用いた手洗いか、または適切な擦式アルコール消毒剤によって実施する (I A)			
	皮膚の消毒：禁忌とされる場合を除き、アルコールベースの皮膚消毒剤を用いるべきである (I A)			
	予防的抗菌薬：予防的抗菌薬は切開前1時間以内（バンコマイシンあるいはフルオロキノロンでは2時間以内）に投与する必要がある (I A)			
	個人用保護具（手袋、ガウン、マスク、保護メガネ）は、施設のガイドラインに従って着用されなければならない (III C)			
	手術室の出入り：手術室の人数は、安全な作業を実施できる空間を適切に確保できるよう制限する (III C)			
	正常体温：能動的加温機器を用い、周術期を通して正常体温を維持する (I B)			
	創洗浄：SSI のリスクを低減するための縫合前抗菌薬入り切開創洗浄は避ける (I A)			
	清潔手術において、基本的な予防策を講じたにもかかわらず SSI 発生率が高い場合、抗菌薬含有縫合糸使用を検討してもよい (II B)			
	粘着性切開用ドレープが使用される整形外科および心臓手術では、患者がヨウ素アレルギーである場合を除き、ヨウ素含有粘着性切開用ドレープの使用を検討する (II B)			
	バンコマイシンパウダーを SSI 予防のために手術部位に使用しないこと (I C)			
	その他（追加）：			
術後	APSIC ガイドライン勧告項目 () は勧告カテゴリー	対象 ✓	実施 ✓	備考
	陰圧閉鎖療法（準清潔手術および汚染手術）ならびに銀系ドレッシング材は結果が様々であり、その使用に関しては個々の判断を勧める SSI 予防のための日常的使用は推奨されない (II C)			
	その他（追加）：			

※対象時、実施時にチェック

	各勧告のカテゴリー
A	使用の勧告を支持する良好なエビデンス
B	使用の勧告を支持する中程度のエビデンス
C	使用に賛成または反対する勧告を支持する不十分なエビデンス
D	使用に反対する勧告を支持する中程度のエビデンス
E	使用に反対する勧告を支持する良好なエビデンス

	勧告の実施に関わるエビデンスの品質のカテゴリー
I	1 つ以上の適切に無作為化された対照試験により得られたエビデンス
II	1 つ以上の適切にデザインされた非無作為化試験、またはコホートもしくは症例対照解析研究から得られたエビデンスであり、好ましくは2施設以上から、複数回連続で、または規制のない実験における劇的な結果からえられたもの
III	臨床試験、記述的研究、または専門家委員会の報告に基づく専門家の意見から得られたエビデンス


2019年6月発行

3Mは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
医療用製品事業部
<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.
HPM-869-A(0619)

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで
 **0570-011-321**

8:45~17:15 / 月~金（土日祝年末年始は除く）